

1 教育研究上の目的に関する情報

③ 研究科の教育研究上の目的

専攻単位の教育研究上の目的

日本大学大学院薬学研究科の理念及び目的

ライフサイエンスを中心とした基礎科学の発展に伴って疾病の解明が進み、医療における診断、治療技術も著しく高度化している。また、高齢人口の増加など社会構造の変化により、医療に貢献できる薬学が一層求められている。このような多岐に亘る社会的要請に応え、薬学分野における高度な専門知識と技術を涵養し、独創的な研究活動を通じて国際的な競争力及び自立して研究を遂行し発展させる能力を修得させ、将来、医療の分野で指導的役割を果たす質の高い薬学研究者・薬剤師を養成することを目的とする。

(薬学専攻／博士課程)

医療に関連した臨床的な課題を対象とする研究領域を中心とした広範な専門的知識と技術を涵養し、自ら研究課題を解決できる研究能力及び高度な医療を担うための能力を修得させ、将来、指導的立場で活躍し、社会に貢献できる人材を養成する。

ディプロマ・ポリシー

以下に掲げる能力を身に付け、修了に必要な所定の単位を修得し、研究指導を受け博士論文を提出し、学位授与するに相応しいと判定された者に博士(薬学)の学位を授与する。

- 1 自ら課題を見つける着想力、発見する力を修得している。
- 2 課題について考え抜く持久力を修得している。
- 3 課題を解決してゆく思考力を修得している。
- 4 結果を社会に公表する表現力を修得している。
- 5 高い倫理観及び自己研鑽能力を持ち、他者の指導ができる。

カリキュラム・ポリシー

薬学研究科では指導教員の下、研究論文を作成し発表するのみならず、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得するために基礎薬学、応用薬学、実践薬学に加え、アカデミック・ライティング、レギュラトリーサイエンスの知識を滋養し、指導的立場で活躍できる人材の育成を目指す。そのために以下に示す方針に基づき、複数の教員が講義・演習・研究に当たるオムニバス形式の指導体制によりカリキュラムを編成する。

なお、学習成果は、受講態度、課題レポートの内容、プレゼンテーション及び質疑応答、討議内容又は試験等により評価する。

1 教育研究上の目的に関する情報

- 1 基礎薬学, 応用薬学及び臨床薬学の知識を広く修得する。
- 2 所属研究室において, 指導教員の下, 独創的で質の高い研究課題を立案し, 遂行する。
- 3 研究を遂行する過程において, 研究指導能力, 研究における倫理感を養う。
- 4 研究発表の場において, プレゼンテーション及びディスカッション能力を養う。
- 5 研究成果を英文でまとめ, 国際誌に発表する。